

今回から後期。PDF版では、前期で解説しきれなかった内容を追加で解説する予定である。今回は前期第1～3回で解説した内容を追加解説する。ただし前期で復習回または単語回だけだった場合は新たな内容を取り上げる。**基礎的な内容はそれぞれの前期回参照のこと。**

- ・ 外国語を転写する際の語頭以外での文字 i、ï 及び й の扱い方 (前期第1回)

原則子音のあとに i を使用し、母音のあとに й を使うが、日本の姓や地名などで漢字表記したときに母音と直後の音価[i]が別の文字である場合は ï を使う。(例: 小泉 = Коїдзумі)

- ・ 日本語の「し」と「ち」の扱い(前期第2回)

これらは公式では訓令式ベースで転写(それぞれ ci と ti)されており、本来の発音とは異なる転写がなされているが、本コーナーでは発音ベースの転写(それぞれ shi と chi)とする(前期も同様の対応をとった)。なおこれらを含む「しゃ行」と「ちゃ行」も同様である。

- ・ 文字 В の発音(前期第3回)

文字 В について、前期では音価が [B] であると解説したが、現地人でも難しい故、現代では音価 [β ~ v] で発音される。また、語頭及び直後に母音を伴わない箇所では音価 [w] になる。

□発音練習

以下のウクライナ語単語を発音したのち、英翻字で書け。(詳細は各回の英翻字欄参照)

- (1) Десть (意味: どこか)
- (2) Єнот (意味: アライグマ)
- (3) Лівія (意味: リビア(北アフリカの国名))
- (4) Німецький (意味: ドイツの)
- (5) Парадокс (意味: 矛盾)
- (6) Язык (意味: 舌)

□練習問題(後期から始める人向け)

ウクライナ語を和訳せよ。

- (1) Він студент.
- (2) Тут немає яйця.
(немає: ~はそこにはない, 前期第4回単語集収録単語)
- (3) Кіт там?
- (4) Я не їм яблука.

□練習問題(前期から続けている人向け)

- (5) У вас є тварини?
- (6) Їй дев'ятнадцять років.
- (7) Я шукаю котів, їх знаєш?
- (8) Там немає музики?

□キリル文字大文字練習スペース(印刷推奨)

А			Б			В		
Г			Ґ			Д		
Е			Є			Ж		
З			И			І		
Ї			Й			К		
Л			М			Н		
О			П			Р		
С			Т			У		
Ф			Х			Ц		
Ч			Ш			Щ		
Ь			Ю			Я		

□キリル文字小文字練習スペース(印刷推奨)

а			б			в		
г			г			д		
е			є			ж		
з			и			і		
ї			й			к		
л			м			н		
о			п			р		
с			т			у		
ф			х			ц		
ч			ш			щ		
ь			ю			я		

□スキット問題(前期から続けている人向け、後期初回)

2022年4月、先生は草加の教室を常設化するため、メイが生徒として通っていた品川教室をメイと新堀が継ぐことに。一方のヴィクトルは某ウイルスが流行る数か月前にウクライナに帰国していた影響で日本にはいない。メイはヴィクトルへの近況報告として緑の通話アプリで通話を始めた。

Мей: Привіт, як ти?

Віктор: Мені добре. А ти?

Мей: Я успадкувала це від Сенсея.

Віктор: Ох, сенсей добре?

Мей: У сенсея є в місті Сока.

Віктор: Але чому ти?

Мей: Тому що мені це① добре вдавалося.

Віктор: А як Квітка?

Мей: Вона прийняла японське громадянство в 2019 році, але після цього я не знаю.

Віктор: Це так?

Мей: Так. Якщо ти будеш робити так, як Квітка, вивчай японську мову більше.

Віктор: Так. Гм, хто вона з тобою?

Шінборі: Дуже приємно, Віктор. Я Ейко Шінборі. Я її семпай②.

Віктор: Розумію. Коли Квітка була там, ви були?

Шінборі: Так.

Віктор: А як звать Квітку в Японії?

Мей: Від місця, де вона проживала, її прізвище Адзусава.

Віктор: Отже, її ім'я в Японії Хана Адзусава?

Мей: Так.

- (1) Квітка の日本名は何か。フルネームで。ただしカナ表記でよい。
- (2) 下線部①の **це** は何をさしているか。
- (3) 下線部②の単語“**семпай**”は日本語である。ウクライナ語では何というか。

◇登場人物紹介

メイ、ヴィクトル、先生

前期第 11 回参照

Квітка

名前(ウクライナ国籍時代): **Квітка Лук'яненко**

在住: 東京都板橋区(2020年3月まで{スキット問題(1)の答の名字部分}地区、同4月以降三園地区)

生誕地: Суворовський 地方, Одеса

趣味: 不明

家族: 不明

-----後期から始める方へ-----

ウクライナ語を学び始めようとしている皆さん bitaro、sqrt27 です。当シリーズは PDF 版をメインとしておおまかな、ときには細かな解説を YouTube で動画版として提供しているシリーズです。

「ウクライナ語はロシア語と同じなんだろう？」などというウクライナ語という言語自体に関するコメントがありますが、それは違います。しかし語族が同じの兄弟言語という位置づけにあたります。似たような、または全く同じ単語もありますが、全く違う単語もあります。

某緑色のフクロウの英語学習アプリにウクライナ語が収録されていますが、そちらは英語話者向けに提供されているものです。私の場合は「英語を英語のまま理解する」ことをしているのでこのアプリで各言語を勉強するときは和訳という手順は踏んでいません。(日本語話者向けに提供されているものを除く)

しかし皆が私みたいな人ではないことから日本語とウクライナ語を結びつけるコンテンツを提供することを前期第1回開始前のころに決めました。

日本語を話せるウクライナ語を母語とする方々よりは説得力に欠けますが、何卒宜しくお願い致します。